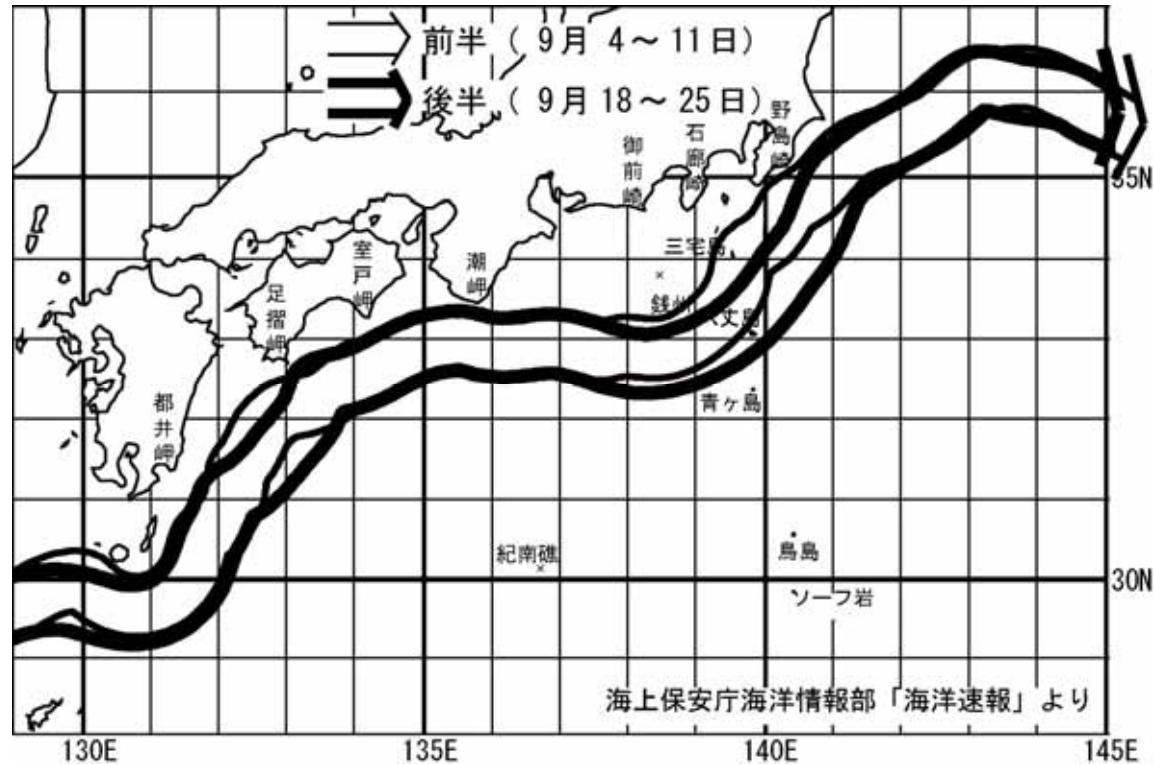


漁海況月報

平成26年 9月 1日

No. 9 ~ 9月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



[黒潮流路]

前半の黒潮は、都井岬～潮岬で接岸し、遠州灘沖の33.3°N付近を東南東に進んだ。その後139°E付近から北東に向かい、三宅島付近を通過して房総半島に接岸した。後半は、都井岬で若干離岸した。伊豆諸島付近でも前半よりも若干離岸し、八丈島と三宅島の間を北東方向に通過した後、房総半島沖へ流れた。

[県下沿岸域]

相模湾側では、月を通じて概ね「平年並」～「やや高め」であった。駿河湾では、上旬は「やや低め」、中・下旬は、曇見では「やや低め」の他は「平年並」であった。

[竿釣カツオ]

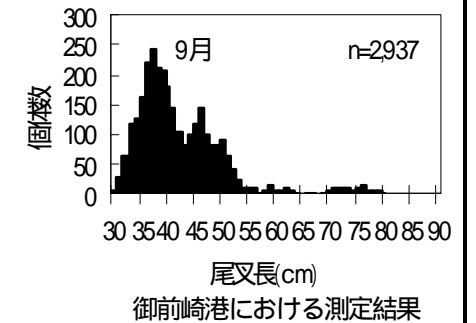
9月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海船+沿岸船)の水揚量は80トンで前年同期の123%であった。魚価は463円/kgで前年同期を若干下回った。

近海竿釣り船の水揚げはなく、沿岸竿釣り船が31～34°N、138～140°Eの伊豆諸島海域を中心に、尾叉長37cmモード(チン)、46cmモード(小)のカツオを主体に漁獲した。

上旬には、一時的に御前崎沖に漁場が形成し、日戻り操業による水揚げがあった。

竿釣り(近海船+沿岸船)カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
26年9月上旬	56	27	2.1	462
中旬	12	15	0.8	560
下旬	12	6	2.0	412
26年9月計	80	48	1.7	463
25年9月計	65	23	2.8	467
24年9月計	78	37	2.1	294



9月定地水温の旬平均値() (下段は平年偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	曇見	沼津	焼津	地頭方
上旬	23.6	25.0	24.7	25.2	24.9	24.2	24.6
	-1.1	0.5	0.1	-0.7	-0.8	-1.2	-0.9
中旬	24.4	24.9	24.7	24.3	24.7	24.4	25.0
	0.2	0.8	0.6	-0.8	-0.2	0.0	0.3
下旬	23.7	24.1	23.7	23.7	23.9	23.7	23.5
	0.6	0.6	0.2	-0.6	0.3	0.2	-0.1
月	23.9	24.6	24.4	24.4	24.5	24.1	24.4
	-0.1	0.7	0.3	-0.7	-0.2	-0.3	-0.2

[定 置 網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は347トンで前年の同漁場の水揚量(329トン)の1.1倍となった。また、1か統あたりの水揚量は49.6トンで前年(47.0トン)の1.1倍、平年(昭和57～平成25年の平均51.0トン)の1.0倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとマルソウダ、さば類、ヤマトカマスの順に多かった。

マルソウダは古網、北川、伊豆山漁場で大半を占めた。さば類はゴマサバ主体であった。ヤマトカマスは古網、伊豆山漁場で、シイラは古網、川奈漁場で、マイワシは赤沢漁場で大半を占めた。

漁場別の漁獲量では、古網漁場が134.5トン(マルソウダ、ヤマトカマス、さば類など)、伊豆山漁場が52.7トン(ヤマトカマス、マルソウダ、さば類など)、赤沢漁場が47.5トン(マイワシ、さば類、マルソウダなど)の順に多かった。

伊豆半島東岸大型定置網7か統で多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	111.4	1.2	2.1	古網、北川、伊豆山
さば類	86.4	0.9	0.7	古網、北川、伊豆山
ヤマトカマス	56.9	0.9	2.3	古網、伊豆山、赤沢
シイラ	25.3	3.4	5.0	古網、川奈、富戸
マイワシ	20.6	111.8	1.6	赤沢、古網、川奈

[サバたもすくい・棒受網]

小川港ではゴマサバ777トン(前年同月比208%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量は28.8トン(前年同月比108%)であった。1kgあたり平均単価は、93円で前月(91円)前年同月(75円)を上回った。

棒受網はゴマサバ主体で、上旬から下旬にかけて銭洲で操業したが、中旬には中の瀬にも出漁した。ゴマサバは31cmにモードを持つ2歳魚主体であった。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
26年9月上旬	0	275	4	12	0.0	22.9	0	98	銭洲
中旬	0	340	5	11	0.0	30.9	0	86	銭洲、中の瀬
下旬	0	161	2	4	0.0	40.4	0	102	銭洲
26年9月計	0	777	11	27	0.0	28.8	0	93	
25年9月計	0	374	7	14	0	26.7	0	75	三本、三宅
24年9月計	0	205	5	11	0	18.7	0	59	三本、三宅、新島

水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が225kg、遠州灘が198kgと低調であった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は208kgと前年同期(383kg)の54%、平年同期(過去5か年平均442kg)の47%と前年同期、平年同期を下回った。

また、総水揚量は368.0トンで前年同期(684.0トン)の54%、平年同期(905.6トン)の41%と、前年同期、平年同期を下回った。

6月以降の低調な漁模様を受け、平均単価は1,059円/kgと前年同期(726円/kg)、平年同期(603円/kg)をともに上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	21.2	14	160	133	888
舞 阪	81.8	14	467	175	988
福 田	92.0	15	385	239	983
御前崎	35.6	14	151	235	971
吉 田	57.8	13	281	206	1,040
静 岡	79.5	15	329	242	1,321
平成26年9月計	368.0	85	1,773	208	1,059
平成25年9月計	684.0	80	1,785	383	726
平成24年9月計	742.2	76	1,633	455	570

各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

平年同期：過去5か年(平成21~25年)平均値

[まき網]

小川港ではマイワシの水揚量は2.8トンと、平年同期(25.5トン)の11%であった。沼津港ではマイワシが65.0トンの水揚げで平年同期(415.6トン)の16%、カタクチイワシは1.4トンの水揚げであった。静浦港ではマイワシの水揚げはなく、カタクチイワシは3.3トンであった。伊東港ではマイワシの水揚げは55.1トンで平年同期(42.8トン)の129%、カタクチイワシの水揚げはなかった。

平年同期：過去5か年(平成21~25年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

9月1日 ~ 9月3日	地先定線観測調査	(3日間)
9月4日 ~ 9月5日	ハダカイワシ(MOHT)調査	(2日間)
9月11日	ドック回航(小川~三保造船所)	(1日間)
9月19日	ドック回航(三保造船所~小川)	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

